

あぐり通信 ②

2024.1.12

あぐり郡山 番外編②予定 (1/12)

① スナックエンドウ・玉ねぎの追肥

② 収穫作業

- ・ほうれんそう
- ・ねぎ
- ・大根(すごいことになってます!)
- ・白菜

③ 畑の片付け

・畑の残渣処理

生の物は、細かくして土の上に広げて1ヶ月乾燥させる。乾燥済の残渣は土にすき込む。

次回番外編 3月8日(金) 10時 畑集合

(自由参加です) スナックエンドウの追肥
ジャガイモづくりの畑準備

※ 雨、雪、荒天時は、中止します。



① 収穫後、残った外葉を切り取り、スコップで細かく刻む。堅い茎と根は取り除く(写真はキャベツ)。



② 細かく刻んだ残渣を土の上に広げ、1か月ほど置いて乾かす。



③ 土とよく混ざるように、クワでいねいに耕して畑にすき込む。

キャベツやブロッコリー、ダイコンといった秋冬野菜の収穫を終えると、畑には、収穫後の残渣が大量に残ります。これをいつまでも菜園に放置しておく、病害虫の温床になるため、できるだけ早く片づけることが大切です。

残渣はゴミとして捨てるほか、穴に埋めて堆肥にすることもできますが、菜園にいた場所があれば、土に直接すき込んで分解させるのがおすすめです。春になるまでの間に微生物によって分解され、土の栄養分にもなるからです。

土に残渣をすき込む際は、株ごと土に埋めると地温が低いため冷蔵保存されたような状態になって、分解に時間がかかります。細かく切ってから土の上に広げて1か月ほど放置し、よく乾燥させましょう。その後、土とよく混ざるようにクワでいねいに耕して、畑にすき込みます。茎と根の堅い部分は、分解されにくいので、ゴミとして処分しましょう。

スコップ
54

秋冬野菜の残渣は、土にすき込む!



仙台市郡山老人福祉センター・郡山地域包括支援センター